

週間情報

No. **0839**

発行: 全国消防長会 企画部 企画課 東京都港区虎ノ門 2-9-16 TEL03-4500-6622 URL: <https://www.fcj.gr.jp/>

目次

※ 目次の項目をクリックすると、該当ページへ移動します。

消 防 本 部 の 動 き

▽行 事

- ◆ 白杵市と津久見市の2市合同による「消火用水供給支援に関する協定」の締結式を実施

[白杵市消防本部（大分）](#)

▽訓 練

- ◆ 静岡県消防防災航空隊合同訓練を実施
[熱海市消防本部（静岡）](#)
- ◆ 救急総合シミュレーション訓練を実施
[宮古島市消防本部（沖縄）](#)
- ◆ 伊予消防等事務組合消防本部との合同救急事故対応訓練を実施
[大洲地区広域消防事務組合消防本部（愛媛）](#)
- ◆ 小山警察機能移転訓練に伴う消防・警察合同救出訓練を実施
[小山市消防本部（栃木）](#)
- ◆ 北海道防災航空隊と地上救急隊との心停止傷病者に対する心肺蘇生合同訓練を実施
[日高西部消防組合消防本部（北海道）](#)
- ◆ 群馬県防災航空隊と林野火災連携訓練を実施
[多野藤岡広域市町村圏振興整備組合消防本部（群馬）](#)
- ◆ 建設業者、警察との土砂風水害対応連携訓練を実施
[鶴岡市消防本部（山形）](#)
- ◆ 内水氾濫を想定した消防団との合同訓練を実施
[倉敷市消防局（岡山）](#)
- ◆ 解体前の橋を使用した救助訓練を実施
[仙台市消防局（宮城）](#)

▽研 修

- ◆ 電力会社との合同研修会を実施
[弘前地区消防事務組合消防本部（青森）](#)
- ◆ 令和8年度ハラスメントセミナーを開催
[羽島郡広域連合消防本部（岐阜）](#)
- ◆ CRM研修を実施
[大垣消防組合消防本部（岐阜）](#)
- ◆ 岐阜県救急隊（消防隊）活動プロトコル改定に伴う研修会を実施
[羽島市消防本部（岐阜）](#)
- ◆ 令和8年度消防職員研修会（CRM研修）を実施
[福知山市消防本部（京都）](#)
- ◆ 「RCA（根本原因分析）研修」を実施
[十日町地域消防本部（新潟）](#)

[目次に戻る](#)

▽その他

- ◆ 消防協力者に感謝状を贈呈
柏崎市消防本部（新潟）
- ◆ 静岡産業大学と「FMS測定」を実施
磐田市消防本部（静岡）
- ◆ 防災週間に伴うイベントを開催
東京消防庁（東京）
- ◆ 「2026年度JR草津駅『駅で体験AED～救急フェア～』」を開催
湖南広域消防局（滋賀）
- ◆ 「うるま市消防本部救急フェア2026」を開催
うるま市消防本部（沖縄）
- ◆ 「津波時の消防活動計画策定支援アドバイザー」を招聘
ひたちなか・東海広域事務組合消防本部（茨城）
- ◆ 初開催！救急医を「一日救急隊長」に委嘱
鳥取県東部広域行政管理組合消防局（鳥取）
- ◆ 女性限定「尼崎市消防局インターンシップ」を実施
尼崎市消防局（兵庫）
- ◆ 「救急フェア」を開催
加古川市消防本部（兵庫）
- ◆ 救急医療週間特別ブースを開設
笠岡地区消防組合消防本部（岡山）
- ◆ 訓練塔・防災学習館完成披露会およびファミリーデーを開催
川越地区消防局（埼玉）
- ◆ 「防火防災救急フェア2026」を開催
猪名川町消防本部（兵庫）
- ◆ 「羽生消防フェア2026」を開催
羽生市消防本部（埼玉）
- ◆ 「路線バスを活用したラッピング広報」を実施
相模原市消防局（神奈川）
- ◆ 「庁舎シャッターに大画面スライドを投影した火災予防広報」を実施
石狩北部地区消防事務組合消防本部（北海道）

国 等 の 動 き

▽消防庁通知等

- ◆ マイナ救急の一層の活用推進に向けて（依頼）
(事務連絡、令和8年9月29日)
- ◆ 令和9年度にマイナ保険証を活用した救急業務（マイナ救急）を実施する救急隊数等の調査（照会）
(消防救第355号、令和8年9月29日)
- ◆ 感震ブレーカーの普及推進に関するフォローアップ調査について
(令和8年9月30日時点)
(消防予第422号、令和8年9月30日)
- ◆ 警防活動時等における消防職員の安全管理の再徹底について
(消防消第384号、令和8年10月2日)

▽報道発表

- ◆ AI関連企業と消防機関のマッチング結果
(令和8年9月28日、消防庁)
- ◆ 消防防災科学技術研究推進制度の令和8年度研究開発課題の採択
(令和8年9月30日、消防庁)
- ◆ 「令和9年度危険物安全週間推進標語」及び「令和8年度危険物事故防止対策論

[目次に戻る](#)

文」の募集

(令和8年10月1日、消防庁)

- ◆ 令和8年度消防設備関係功労者等に係る消防庁長官表彰

(令和8年10月2日、消防庁)

▽情報提供

- ◆ 東京消防庁における令和9年度受託研修に関するお知らせ

東京消防庁（東京）

「公式 X」を開設!!

～あなたのもとへ直接、素早く情報をお届け～

フォローはこちら



X (旧 Twitter) 登録用二次元コード

消防本部の動き

▽行 事

◆ 臼杵市と津久見市の2市合同による「消火用水供給支援に関する協定」の締結式を実施

臼杵市消防本部（大分）

臼杵市消防本部では、令和8年9月28日（月）、臼杵市と津久見市の2市合同による「消火用水供給支援に関する協定」の締結式を実施しました。

この協定は、消防水利が不足する地域での林野火災などに対する現場対応力を強化することを目的として、両市に工場を持つ臼津生コンクリート協同組合とそれぞれ締結したものです。

この締結により、災害時に市境を超えて同組合加盟工場からミキサー車を活用した迅速な消火用水の供給が可能となり、地域の広域的な防災体制のさらなる強化が図られました。

当消防本部では、今後も官民連携のもと、市民の皆さまの安全・安心な暮らしを守るため、各種防災体制の充実に努めてまいります。



【ミキサー車での消火用水供給の様子】



【合同締結式後の記念撮影】

▽訓 練

◆ 静岡県消防防災航空隊合同訓練を実施

熱海市消防本部（静岡）

熱海市消防本部では、令和8年9月2日（水）、静岡県内で唯一の有人島である初島において、静岡県消防防災航空隊および熱海市消防団第9分団と合同で救助訓練を実施しました。

この訓練は、相互の活動内容について理解を深め、さらなる連携強化を図ることを目的として実施したものです。

訓練では、「初島の海岸で身動きが取れない要救助者が発生した」との想定で、県の防災ヘリコプター「オレンジアロー」が上空から到着し、地上部隊の消防団員が周囲の警戒を速やかに行い、救助隊員が降下して要救助者を収容するまでの実践的な活動手順を入念に確認しました。

訓練後は、初島保育園および初島小中学校の12人が機体を見学し、防災への関心を深める機会となりました。

今後も、離島や海岸線といった特殊な環境下で発生する災害に対し、空と陸からの迅速な救助体制を確立するとともに、訓練を通じて隊員と団員の意思疎通を円滑にすることで、災害対応の効率化につながるように努めてまいります。



【訓練の様子】



【訓練後の記念撮影】

◆ 救急総合シミュレーション訓練を実施

宮古島市消防本部（沖縄）

宮古島市消防本部では、令和8年9月8日（火）から10日（木）までの3日間、救急医療週間の一環として救急総合シミュレーション訓練を実施しました。

この訓練は、救急隊員に必要な救急知識の習得、技術の向上、救急資器材の的確な使用および救急活動技術の向上を目的として実施したものです。

訓練では、9組の救急隊が参加し、5種類の想定訓練を実施し、隊員一人一人の知識と技術を再確認するとともに、隊員間の連携強化を図りました。

また、訓練終了後には各隊の課題を共有したほか、今後の救急活動に生かすための検討会を実施しました。

今後も住民の皆さまの安心・安全を守るため、救急技術の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 伊予消防等事務組合消防本部との合同救急事故対応訓練を実施

大洲地区広域消防事務組合消防本部（愛媛）

大洲地区広域消防事務組合消防本部では、令和8年9月14日（月）、喜多灘ふれあい広場において、伊予消防等事務組合消防本部と合同で救急事故対応訓練を実施しました。

この訓練は、「消防相互応援に関する覚書」に対する認識と理解を深めることを目的として実施したものです。

訓練は、両消防本部が管轄する境界付近で交通事故が発生し、複数の傷病者がいるとの想定で実施しました。

雨天により急きょ屋内での実施となりましたが、訓練を通じて相互の課題などを共有することができ、目的達成とともに両消防本部の連携強化につながりました。



【訓練の様子】



【訓練後フィードバックの様子】

◆ 小山警察機能移転訓練に伴う消防・警察合同救出訓練を実施

小山市消防本部（栃木）

小山市消防本部では、令和8年9月16日（水）、栃木県小山警察署と合同で救出訓練を実施しました。

訓練では、大規模地震の発生により同警察署が倒壊し、機能移転を行う状況を想定して、倒壊建物からの要救助者を消防と警察が合同で救出する実践的な訓練を行い、相互の活動内容への理解を深めるとともに、災害発生時の円滑な情報共有と連携体制の強化を図りました。

今後も消防と警察が継続して合同訓練を実施し、市民の安全・安心を守るための災害対応能力の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 北海道防災航空隊と地上救急隊との心停止傷病者に対する心肺蘇生合同訓練を実施

日高西部消防組合消防本部（北海道）

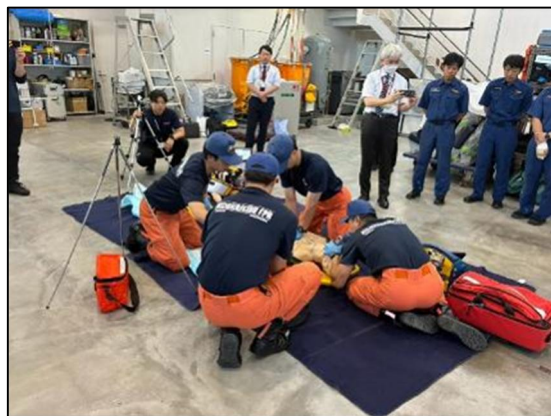
日高西部消防組合消防本部では、令和8年9月17日（木）に北海道防災航空隊と心停止傷病者に対する心肺蘇生合同訓練を実施しました。

この訓練は、「心停止傷病者に対するハイパフォーマンスCPR要素を含めた救急活動」をテーマとし、心肺蘇生技術とチームシンクロについての認識を共有することを目的として実施したものです。

訓練では、心停止傷病者に対する心肺蘇生の土台となる胸骨圧迫、有効な換気、中断の最小化など、心肺蘇生に必要な知識と技術を確認するとともに、地上救急活動とは環境が異なる山岳地やヘリコプター機内における自動心臓マッサージ器の装着要領を確認しました。

訓練を通じて、心肺蘇生技術とチームシンクロについて認識を共有するとともに、実災害に向けた更なる救急対応力の強化を図ることができました。

当消防本部では、今後も同防災航空隊との緊密な連携を推進し、陸空一体となった救命体制の構築に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 群馬県防災航空隊と林野火災連携訓練を実施

多野藤岡広域市町村圏振興整備組合消防本部（群馬）

多野藤岡広域市町村圏振興整備組合消防本部では、令和8年9月17日（木）、群馬県防災航空隊と合同で、林野火災連携訓練を実施しました。

この訓練は、林野火災発生時における各関係機関との連携強化を図ることを目的として実施したものです。

当日は、当消防本部と関係機関から計20人が参加し、近年、全国で多発する大規模林野火災を想定して、着陸した状態での防災航空隊消火バケットへの給水連携訓練および林野火災現場を想定した目標物への散水訓練を実施しました。

この訓練を通じて、各関係機関との連携強化を図るとともに、より迅速かつ効果的な災害対応体制の構築につなげることができました。

今後も実践的な訓練を継続し、地域の安全・安心につながるよう取り組んでまいります。



【訓練の様子】

◆ 建設業者、警察との土砂風水害対応連携訓練を実施

鶴岡市消防本部（山形）

鶴岡市消防本部では、令和8年9月24日（木）および25日（金）、本市と災害協定を締結している消防団協力事業所の地元建設業者ならびに鶴岡警察署と土砂風水害対応連携訓練を実施しました。

この訓練は、土砂・風水害が発生した際に、各関係機関が相互に連携し、迅速かつ確実な救命・救助活動につなげることを目的として実施したものです。

24日の訓練では、土砂崩れ現場を想定し、土砂に巻き込まれた要救助者を建設業者が保有する重機と連携して救出しました。

25日の訓練では、内水氾濫により住居2階に避難した要救助者がいる現場を想定し、当消防本部および同警察署がそれぞれ保有するゴムボートを活用して救出活動を行いました。

土砂・風水害は毎年各地で発生しており、本市管轄内においても、いつ発生するか分からないことから、今後も平時から各関係機関との連携を密にし、有事の際に最大限の効果を発揮できるよう、継続して訓練を実施していきます。



【建設業者との訓練の様子】



【警察との訓練の様子】

◆ 内水氾濫を想定した消防団との合同訓練を実施

倉敷市消防局（岡山）

倉敷市消防局では、令和8年9月27日（日）、管内のプールにおいて、倉敷市消防団水島方面隊と合同で、内水氾濫を想定した訓練を実施しました。

この訓練は、風水害発生時の連携強化と災害対応能力の向上を目的として実施したものです。

訓練では、総務省消防庁から無償貸与された救助用ボートを活用し、救出・搬送訓練などを行い、参加者は模擬家屋からの救出要領を確認したほか、救命胴衣および胴付長靴を着用し、水深約80cmの環境下で水圧による活動障害を体験しました。

実践的な訓練を通じて、安全管理の重要性を再認識するとともに、災害への備えの大切さについて理解を深めました。

今後も消防団との連携を強化し、市民の安全・安心を守るため、訓練を重ねてまいります。



【救助用ボートでの搬送訓練】



【模擬家屋からの救出訓練】

◆ 解体前の橋を使用した救助訓練を実施

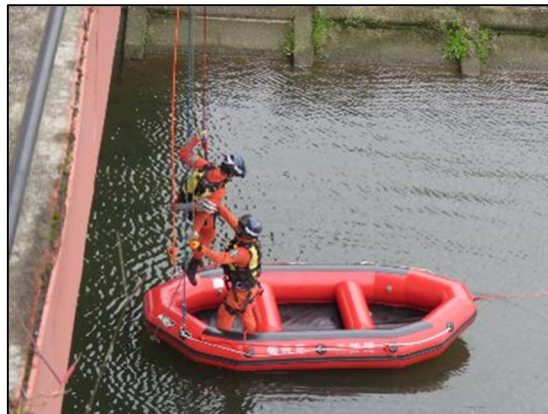
仙台市消防局（宮城）

仙台市消防局では、令和8年9月28日（月）、解体予定の橋梁を使用し、大雨による水難事故を想定した救助訓練を実施しました。

この訓練は、大雨による水難事故における救助対応能力の向上を目的として実施したものです。

訓練では、さまざまな事故形態を想定し、装備や資機材などを臨機に変更しながら実践的な訓練を行うことで、救助活動能力のさらなる向上を図りました。

現場では安全かつ確実な行動が求められることから、今後も市民の安全・安心を守るため、訓練を積み重ねてまいります。



【訓練の様子】

▽研 修

◆ 電力会社との合同研修会を実施

弘前地区消防事務組合消防本部（青森）

弘前地区消防事務組合消防本部では、令和8年9月9日（水）、「災害時における東北電力ネットワーク株式会社弘前電力センターと連携した活動に係る合同研修会」を実施しました。

この研修会は、職員が電力設備周辺での災害対応における留意点について理解を深めることを目的として、講義と電力会社・消防機関による救助活動のデモンストレーションの2部構成で実施したものです。

当日は、同電力センター職員による、電力設備周辺で消防活動を行う際の注意点などについて講義、電力会社・消防機関による救助活動のデモンストレーション、双方の組織体制についての意見交換を通じて、同センターと連携する際に必要となる知識を習得することができました。

今後も、各種災害を想定した実践的な訓練を継続し、地域との連携を強化することで、防災力の一層の向上に努めてまいります。



【研修会の様子】

◆ 令和8年度ハラスメントセミナーを開催

羽島郡広域連合消防本部（岐阜）

羽島郡広域連合消防本部では、令和8年9月16日（水）、本部3階大会議室および東消防署（オンライン）において、令和8年度ハラスメントセミナーを開催しました。

このセミナーは、「多様性時代の消防組織づくり～女性活躍支援からハラスメント防止まで～」と題し、全職員を対象に開催したものです。

当日は、総務省消防庁「女性消防吏員活躍推進アドバイザー制度」を活用し、仙台市消防局から同アドバイザーの安田のり子氏をお招きしてご講義いただき、女性が働きやすい環境整備やセクハラ・パワハラ防止対策、産休制度や男女の育児制度についての理解を深めることができました。

今後も、組織と職員一人一人が正しい共通認識を持ち、誰もが働きやすく活躍できる消防組織づくりに努めてまいります。



【セミナーの様子】

◆ CRM研修を実施

大垣消防組合消防本部（岐阜）

大垣消防組合消防本部では、令和8年9月17日（木）、消防本部において、LIVENCE株式会社代表取締役の上樂氏を講師に招き、CRM研修を実施しました。

この研修は、安全管理意識の醸成を目的として実施したものです。

CRMとは、航空業界で開発された安全管理の概念であり、人や機器、情報などのリソースを有効活用してリスクマネジメントを行う手法として、消防分野への導入が進められています。

研修では、状況判断力やコミュニケーション能力などのノンテクニカルスキルの重要性についてご講義いただいたほか、グループディスカッションを通じてCRMの有効性について理解を深めました。

今後もCRMの安全管理概念を活用し、現場の安全管理意識の向上に努めてまいります。



【研修会の様子】

◆ 岐阜県救急隊（消防隊）活動プロトコル改定に伴う研修会を実施

羽島市消防本部（岐阜）

羽島市消防本部では、令和8年9月1日（火）から18日（金）にかけて、警防職員を対象に、岐阜県救急隊（消防隊）活動プロトコル改定に伴う研修会を計4回実施しました。

この研修会は、JRC蘇生ガイドライン2025の発表に伴い岐阜県救急隊（消防隊）活動プロトコルが改定され、令和8年10月1日から運用開始されることを受け、新たなプロトコルへの理解を深め、活動時のプロトコル違反を防止することを目的として実施したものです。

研修では、指導的立場にある救急救命士が講師を務め、WEB会議方式により実施し、職員一人一人のプロトコルに対する理解を深めることができました。

今後も、消防本部一丸となって救急活動に備え、引き続き訓練・教育を継続し、救急活動の質の向上に努めてまいります。



【研修会の様子】

◆ 令和8年度消防職員研修会（CRM研修）を実施

福知山市消防本部（京都）

福知山市消防本部では、令和8年9月24日（木）、令和8年度消防職員研修会（CRM研修）を実施しました。

この研修会は、「人は間違ふ」を前提に安全最優先の共通認識を持ち、安全文化を醸成し、組織力の向上を図ることを目的として実施したものです。

研修会では、神奈川県横浜市消防局の島野雅男氏を講師に招き、グループワークを中心とした座学研修を実施しました。

午前中は全職員を対象にヒューマンエラーの特性について理解を深め、午後からは係長級以上を対象に事例を用いたグループワークを行い、エラーに矛先を向けるのではなく、その背景や要因を分析する手法について学びました。

今後も、あらゆる災害現場における安全管理の徹底および組織全体の対応力向上に努めてまいります。



【研修会の様子】

◆ 「RCA（根本原因分析）研修」を実施

十日町地域消防本部（新潟）

十日町地域消防本部では、令和8年9月29日（火）、管理的立場にある職員を対象に「RCA（根本原因分析）研修」を実施しました。

この研修は、課題に対する根本原因を的確に把握し、業務管理や業務改善に役立てることを目的として実施したものです。

研修では、新潟大学大学院医歯保健学研究科災害医学・医療人育成分野の特任教授である高橋昌氏を講師に招き、ご指導をいただいたほか、グループワークを通じてRCAの基本とされる「なぜなぜ分析」を実践し、課題に対する根本原因を的確に分析する手法を学びました。

消防業務は、災害現場において安全管理を大前提とした任務遂行が求められるとともに、訓練や日常業務においても部下を指導・管理しながら業務を着実に進めていく必要があることから、今後は、本研修で学んだ内容を業務管理や業務改善に生かしてまいります。



【研修会の様子】

▽その他

◆ 消防協力者に感謝状を贈呈

柏崎市消防本部（新潟）

柏崎市消防本部では、令和8年9月24日（木）、消防協力者2人に対して、消防長から感謝状を贈呈しました。

本事案は、令和8年8月1日（土）、市内の海水浴場において、沖合に流された要救助者2人に対し、海の家従業員である消防協力者2人がSUP（スタンドアップパドルボード）などを活用して迅速に救助を行い、浜辺まで救出したものです。

消防協力者2人の冷静な判断と迅速かつ的確な救助活動により、尊い人命が救われたことに対し、その功績をたたえとともに、心から敬意と感謝の意を表します。



【感謝状贈呈後の記念撮影】

◆ 静岡産業大学と「FMS測定」を実施

磐田市消防本部（静岡）

磐田市消防本部では、令和8年7月3日（金）から8月26日（水）にかけて、静岡産業大学スポーツ科学部の中井真吾教授と連携し、職員約60人を対象に、「FMS（Functional Movement Screen）測定」による身体機能のスクリーニングテストを実施しました。

この取り組みは、当消防本部と静岡産業大学などが、消防職員の「健康と体力」をサポートすることを目的に締結している連携協定に基づき実施したもので、測定では身体の動作や関節の柔軟性、体幹の安定性などを確認しました。

今後は、測定結果に基づき制作する「消防オリジナルエクササイズ動画」の共有や、個別の「セルフサポートプログラム」などを職員に向けて展開していく予定です。

当消防本部では、産学官連携により、「安心して現場活動に従事できる組織づくり」を推進し、職員の公務災害の予防や現場活動への不安の解消を図るとともに、定年延長により増加する高齢職員や、積極採用が進む女性職員が安心して活躍できる職場環境づくりに努めてまいります。



【多くのベテラン職員も測定に参加】



【中井先生による専門的な測定】

◆ 防災週間に伴うイベントを開催

東京消防庁（東京）

東京消防庁世田谷消防署では、令和8年9月2日（水）、人気文芸評論家の三宅香帆氏と都市ジャーナリストの谷頭和希氏を一日消防署長・一日救助隊長に迎え、防災週間に伴うイベントを開催しました。

当日は、学生と連携した初期消火訓練のほか、トークショーでは防災に関する書籍を取り上げながら、若い世代や働き世代に影響力のある二人が、地震に備えた家具の固定の重要性を呼びかけ、家具類の転倒・落下・移動防止対策の推進につながる取り組みとなりました。

当日の様子は、三宅香帆氏の公式 YouTube「三宅書店【本を読むモチベを上げるチャンネル】」で配信されており、9月7日時点で3万回再生を突破しました。

この機会に、ぜひご覧ください。



【YouTube 動画はこちら！】

◆ 「2026年度JR草津駅『駅で体験AED～救急フェア～』」を開催

湖南広域消防局（滋賀）

湖南広域消防局では、令和8年9月6日（日）、JR草津駅と連携し、「2026年度JR草津駅『駅で体験AED～救急フェア～』」を開催しました。

会場では、心肺蘇生法やAEDの体験ブースのほか、子ども向けの防火衣や駅員の制服の試着ブースなどを設けました。

フェアを通じて、来場者に心肺蘇生法やAED使用の重要性について理解を深めていただくとともに、救急医療への関心を高める機会となりました。



【救急フェアの様子】

◆ 「うるま市消防本部救急フェア2026」を開催

うるま市消防本部（沖縄）

うるま市消防本部では、令和8年9月6日（日）、イオン具志川ショッピングセンターおよびサンエー石川シティにおいて、「うるま市消防本部救急フェア2026」を開催しました。

このイベントは、市民に応急手当の重要性や救急車の適正利用について理解を深めていただくとともに、救命意識の向上を図ることを目的として開催したものです。

当日は、台風の接近に伴う悪天候のため屋外イベントを中止しましたが、屋内では応急手当コーナー、救急資器材・パネル展示、市民健康相談およびFMうるま公開放送を実施しました。

また、部活動などで優秀な成績を収めているうるま市立あげな中学校の生徒4人を「一日救急隊長」に委嘱し、応急手当の重要性などを広報していただきました。

会場には市内外から多くの来場者が訪れ、いざという時のための応急手当や救急車の適正利用について関心を深めていただく機会となりました。



【応急手当体験の様子】



【一日救急隊長任命式後の記念撮影】

◆ 「津波時の消防活動計画策定支援アドバイザー」を招聘

ひたちなか・東海広域事務組合消防本部（茨城）

ひたちなか・東海広域事務組合消防本部では、令和8年9月9日（水）、同消防本部において、仙台市消防局から「津波時の消防活動計画策定支援アドバイザー」をお招きし、消防活動計画策定に向けた検討会を開催しました。

この検討会は、津波時の消防活動計画策定に伴い、消防庁消防・救急課長から通知があった「津波時の消防活動計画策定支援アドバイザー制度」を活用して、アドバイザーから助言を受けることを目的に開催したものです。

検討会では、はじめに各種計画を策定する際のポイントについて助言を受け、その後、津波時の消防活動計画について、仙台市消防局の活動計画や東日本大震災の経験を踏まえた貴重な助言をいただくなど、大変有意義な検討会となりました。

今回の支援で得られた知見を参考に消防活動計画を策定し、災害発生時の対応能力向上につなげてまいります。



【検討会の様子】

◆ 初開催！救急医を「一日救急隊長」に委嘱

鳥取県東部広域行政管理組合消防局（鳥取）

鳥取県東部広域行政管理組合消防局では、初の試みとして、三次救急医療機関の医師を「一日救急隊長」に委嘱しました。

この取り組みは、救急技術のさらなる向上および医療機関と消防機関との連携強化を目的として実施したものです。

当日は、交通救助訓練や火災救助訓練を体験いただいたほか、救急活動における特定行為の指示要請や搬送先医療機関との病院交渉など、救急隊が行う活動を体験いただきました。

体験後には、「プレホスピタルの活動を実際に体験することができ、非常に良い経験となった。救急活動の大変さを改めて知ることができた。今後とも関係機関との顔の見える関係を構築し、連携を深めていきたい。」との感想が聞かれました。

今後も、今回の取り組みを契機に、消防と医療のさらなる連携強化を図るとともに、救急活動の質の向上に努めてまいります。



【多数傷病者対応訓練体験の様子】



【委嘱式後の記念撮影】

◆ 女性限定「尼崎市消防局インターンシップ」を実施

尼崎市消防局（兵庫）

尼崎市消防局では、令和8年9月12日（土）、女性限定の「尼崎市消防局インターンシップ」を実施しました。

このインターンシップは、将来の進路選択期にある女子学生を対象に、消防業務の実態や魅力を直接体験することで、職業理解の促進を図るとともに、仕事内容や職場環境に対する不安の解消につなげ、女性消防吏員の志望者数の増加および採用促進を目的として実施したものです。

当日は、第1回として大学生および専門学生5人が参加し、消防庁舎・車両見学、被服試着および女性消防吏員との座談会を通じて、仕事内容や職場の雰囲気、女性が働き続けられる環境について、実際に「見て・聞いて・体験する」という内容を行いました。

第2回以降は現職員とともに課題に取り組む予定としており、参加者が将来の働く姿を具体的にイメージできるよう実施してまいります。



【消防庁舎・車両見学の様子】



【女性消防吏員との座談会】

◆ 「救急フェア」を開催

加古川市消防本部（兵庫）

加古川市消防本部では、令和8年9月12日（土）、管内の大型商業施設において「救急フェア」を開催しました。

このイベントは、市民の皆さまに救急車の適正利用や応急手当に関する理解を深めていただくことを目的として開催したものです。

当日は、屋内においてAEDトレーナーを使用した胸骨圧迫体験や救急フェアオリジナル缶バッジの作成、子ども消防服の着用体験のほか、マイナ救急および＃7119の広報を実施しました。

また、屋外では救急車の乗車体験やドクターカーの展示を行いました。

子どもから大人まで幅広い世代の方々に応急手当の大切さを楽しく学んでいただくことで、救急業務への理解促進と救急車の適正利用につながる効果的な広報活動となりました。



【救急フェアの様子】

◆ 救急医療週間特別ブースを開設

笠岡地区消防組合消防本部（岡山）

笠岡地区消防組合消防本部では、令和8年9月11日（金）から12日（土）までの2日間、笠岡高等学校文化祭において、笠岡高等学校保健委員と連携し、救急医療週間特別ブース「つなげ！命のバトン！～あなたの行動が誰かの未来になる～」を開設しました。

このブースは、文化祭に訪れた生徒や地域の方に、救急車が到着するまでの間にできる「命をつなぐ行動」を知ってもらうとともに、救命処置を身近なものとして感じてもらうことを目的として実施したものです。

会場では、胸骨圧迫やAEDの使用方法を体験する「CPR体験」、胸骨圧迫の質を競う「Q CPRチャレンジ」、救急現場を想定した「119番通報チャレンジ」を実施しました。

また、消防士や救急救命士の仕事を紹介する職業相談ブースも設け、多くの生徒や来場者に参加していただきました。

高校生自身が救命について学び、その学びを来場者へ伝えることで、「命のバトン」を次の人へつなぐ機会となりました。



【胸骨圧迫実施の様子】

[目次に戻る](#)

◆ 訓練塔・防災学習館完成披露会およびファミリーデーを開催

川越地区消防局（埼玉）

川越地区消防局では、令和8年9月12日（土）、13日（日）および19日（土）の2週にわたり、川越北消防署訓練塔および防災学習館の完成を記念し、地域住民などを対象とした完成披露会と消防職団員の家族を対象としたファミリーデーを開催しました。

この完成披露会は、防災学習館の見学・体験や訓練塔を活用した訓練を公開することで、地域住民の防災意識の向上を図ることを目的として実施したものです。

完成披露会では、訓練塔を使用した消防部隊の訓練や施設設備を紹介するとともに、防災学習館の見学・体験を通じて施設の機能や役割への理解を深めていただきました。また、子どもから大人まで幅広い世代が体験しながら消防や防災について学ぶ機会となりました。

ファミリーデーでは、消防の仕事をもっと身近に感じてもらうとともに、消防職団員が日々どのような環境で活動しているのかを家族に知っていただき、職場に対する理解を深めてもらうことができました。



【完成披露会の様子】



【ファミリーデーの様子】

◆ 「防火防災救急フェア2026」を開催

猪名川町消防本部（兵庫）

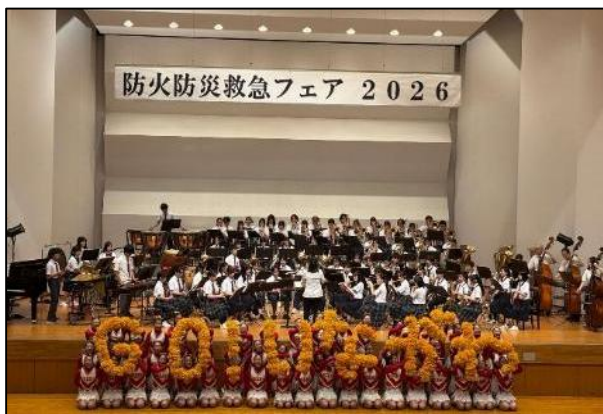
猪名川町消防本部では、令和8年9月19日（土）、町文化体育館において、「防火防災救急フェア2026」を開催しました。

このイベントは、多くの方々に楽しく防火、防災および救急に関する知識を学んでいただき、安全で安心なまちづくりにつなげることを目的として実施したものです。

当日は、約1,800人が来場し、川西警察署、陸上自衛隊第36普通科連隊、猪名川町防災士の会などがイベントに参加したほか、箕面自由学園高等学校チアリーダー部（ゴールデンベアーズ）、いながわ吹奏楽部および猪名川小学校児童によるジョイントコンサートを実施し、来場者全員で「しあわせ運べるように」を合唱しました。

また、コンサート終了後には熊本地震義援金の募金活動を行いました。

今後も、このようなイベントを継続して実施し、地域に親しまれる消防を目指すとともに、安全で安心なまちづくりの推進に努めてまいります。



【コンサートの様子】



【イベントの様子】

[目次に戻る](#)

◆ 「羽生消防フェア2026」を開催

羽生市消防本部（埼玉）

羽生市消防本部では、令和8年9月23日（水・祝）に「羽生消防フェア2026」を開催しました。

このフェアは、消防職員とのふれあいや各種体験を通じて、防火・防災に対する意識の啓発を図ることを目的として開催したものです。

当日は、2,021人が来場し、消防職員との交流や各種体験を通じて、子どもから大人まで幅広い世代に消防や防災への理解を深めていただきました。

消防本部では、今後も各種イベントを継続し、地域住民に消防行政や防火・防災の重要性について理解を深めていただけるよう広報活動に努めてまいります。



【放水体験の様子】



【イベント全景】

◆ 「路線バスを活用したラッピング広報」を実施

相模原市消防局（神奈川）

相模原市消防局では、令和8年9月28日（月）から令和9年3月26日（金）までの間、神奈川中央交通株式会社の「路線バスを活用したラッピング広報」を実施します。

この広報は、住宅用火災警報器の設置義務化から20年を迎えることを契機として、適切な維持管理や交換の必要性を広く市民の皆さまに周知することを目的としたものです。

運行開始に伴い、令和8年9月27日（日）、相模原消防署消防フェアにおいてラッピングバスのお披露目会を実施しました。

今後も住宅用火災警報器の設置および適切な維持管理の重要性について広く周知し、住宅火災による被害の軽減に努めてまいります。



【お披露目会の様子】

◆ 「庁舎シャッターに大画面スライドを投影した火災予防広報」を実施

石狩北部地区消防事務組合消防本部（北海道）

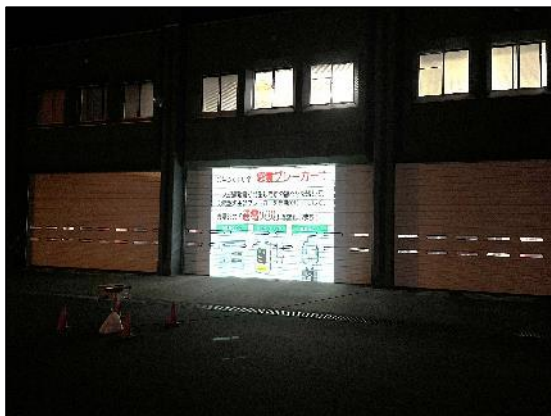
石狩北部地区消防事務組合消防本部では、令和8年9月から、「庁舎シャッターに大画面スライドを投影した火災予防広報」を実施しています。

この取り組みは、庁舎車庫シャッターに約250インチ（縦4.1メートル×横5メートル）の大画面スライドをプロジェクターで投影し、庁舎前を通行する歩行者やドライバーに防火・防災に関する情報を呼びかけることを目的として実施しているものです。

夜間に特化した広報活動ですが、予想以上の反響をいただいています。

来年度からは、4月から11月末までの間で、日の入りから21時にかけて、時期に合わせた啓発画像を順次切り替えながら広報を展開していきます。

今後も本取り組みを通じて、地域住民の防火・防災意識の向上につなげてまいります。



【投影している様子】



【投影画面】

国等の動き

▽消防庁通知等

◆ マイナ救急の一層の活用推進に向けて（依頼）

（事務連絡、令和8年9月29日）

消防庁救急企画室から、各都道府県消防防災主管部(局)、各消防本部あてに事務連絡が発出されましたので、お知らせします。

平素より救急行政の推進につきまして、格別の御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、マイナ救急については、昨年度の実証事業を経て、本年度から各消防本部における本格運用となっているところ、消防庁では、「マイナ救急の全国展開に係る検討ワーキンググループ」（以下「WG」という。）を開催し、更なる活用の推進やシステム改善に向けた検討を進めております（9月7日に第1回を開催）。

つきましては、下記のとおり、WGの検討内容について情報共有するとともに、WGでの意見・議論等を踏まえ、取組等を依頼しますので御協力をお願いいたします。
—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/kyuuki260929.pdf>) に掲載されています。

【問合せ先】

消防庁救急企画室 安全係
金子課長補佐、森係長、高野事務官、
田村事務官、森原事務官
電 話：03-5253-7529（直通）
E-mail：kyukyuanzen@soumu.go.jp

◆ 令和9年度にマイナ保険証を活用した救急業務（マイナ救急）を実施する救急隊数等の調査（照会）

（消防救第355号、令和8年9月29日）

消防庁救急企画室長から、各都道府県消防防災主管部(局)あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

平素より救急行政の推進につきまして、格別の御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

マイナ救急は、令和8年度から各消防本部における本格運用となっていますが、「マイナ救急の一層の活用推進に向けて（依頼）」（令和8年9月29日付け事務連絡）でお示しした通り、全救急事案での活用を基本として運用していただくよう御検討をお願いしているところです。
—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/260929_soumu_02.pdf) に掲載されています。

【問合せ先】 消防庁救急企画室
金子補佐、森係長、高野事務官
電 話：03-5253-7529（直通）
E-mail：kyukyuanzen@soumu.go.jp

◆ 感震ブレーカーの普及推進に関するフォローアップ調査について

(令和8年9月30日時点)

(消防予第422号、令和8年9月30日)

消防庁予防課長から、各都道府県消防防災主管部長、各区市町村防災主管部長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

平素より防災行政にご尽力を賜り誠にありがとうございます。

消防庁では、大規模地震時の電気火災の防止のため、感震ブレーカーの普及推進に取り組んでいるところであり、各自治体における現状を把握するため、下記のとおり調査を実施することとしましたのでご協力をお願いいたします。

なお、ご回答の内容について、個別で内容を確認させていただく場合や、検討会等の資料として公表させていただく場合がありますのでご留意ください。

ー以下省略ー

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/b68d34830c07eaa4483dfa649c3db13715d6789a.pdf>) に掲載されています。

〈担当・連絡先〉

消防庁予防課 谷川・清水

電話：03-5253-7523

Mail：yobouka-y@ml.soumu.go.jp

◆ 警防活動時等における消防職員の安全管理の再徹底について

(消防消第384号、令和8年10月2日)

消防庁消防・救急課長から、各都道府県消防防災主管部長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

令和8年10月2日、神奈川県川崎市多摩区の火災現場において、延焼建物の外壁が崩落したことにより、消防職員3名が負傷し、そのうち1名が死亡するという極めて憂慮すべき事案が発生しました。

災害現場における安全管理については、「安全管理体制の整備について」（昭和58年7月26日付消防消第90号）及び「警防活動時等における安全管理マニュアルの一部改正について」（令和8年7月23日付消防消第301号）等に基づき、その徹底を図っていただいているところですが、今回の事案の発生を踏まえ、改めて下記の事項に留意いただくとともに、安全管理体制を再点検するなど、警防活動時等における安全管理に万全を期すようお願いします。

貴職におかれましては、貴都道府県内の市町村（消防の事務を処理する一部事務組合及び広域連合を含む。）に対してこの旨周知されるようお願いいたします。

なお、本通知は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第37条の規定に基づく助言として発出するものであることを申し添えます。

ー以下省略ー

○ 全文は、消防庁ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/20261002_shoukyu384.pdf) に掲載されています。

消防庁 消防・救急課

職員第一係 漆田・最所

TEL：03-5253-7522

E-mail：shokuin@soumu.go.jp

[目次に戻る](#)

▽報道発表

◆ A I 関連企業と消防機関のマッチング結果

(令和8年9月28日、消防庁)

消防庁では、消防分野におけるA I技術の活用を推進するため、令和8年8月25日に「A I導入オンラインマッチングイベント」を開催しました。イベント終了後、消防機関等及びA I関連企業を対象に連携意向調査を実施した結果、複数のマッチングが成立しましたので公表します。

今後、マッチングした消防機関等及びA I関連企業において、消防庁やG E N I A Cの事業等への共同応募も視野に入れながら、消防現場のニーズを踏まえた技術開発及び現場実証に向けた連携を進める予定です。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/ec619b43e221b4e7d181a1a64d809f3d2a20db2b.pdf>) に掲載されています。

< 担当 >

消防庁総務課技術戦略室

中嶋 ・ 関 ・ 佐々木 ・ 勝田

Tel : 03-5253-7541

Mail : gisen_atmark_ml.soumu.go.jp

※スパムメール対策のため、「@」を

「_atmark_」と表示しております。

送信の際には、「@」に変更してください。

◆ 消防防災科学技術研究推進制度の令和8年度研究開発課題の採択

(令和8年9月30日、消防庁)

消防庁では、消防防災分野における課題解決や重要施策推進に資するため、消防防災科学技術研究推進制度（競争的研究費）により研究開発を推進しています。

「消防技術戦略ビジョン」において定める5つの重点分野に関する技術について、研究開発課題の公募を行い、採択しましたので公表します。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/9712b92838f1727ed28761fe469e30f199f1f8af.pdf>) に掲載されています。

< 担当 >

消防庁総務課技術戦略室

中嶋 ・ 関 ・ 鈴木 ・ 市川

Tel : 03-5253-7541

Mail : gisei2_atmark_ml.soumu.go.jp

※スパムメール対策のため、「@」を

「_atmark_」と表示しております。

送信の際には、「@」に変更してください。

[目次に戻る](#)

◆ 「令和9年度危険物安全週間推進標語」及び「令和8年度危険物事故防止対策論文」の募集

(令和8年10月1日、消防庁)

消防庁では、危険物を取り扱う事業所における自主保安体制の確立を図り、危険物の保安に対する意識の高揚及び啓発を推進するため、「令和9年度危険物安全週間推進標語」及び「令和8年度危険物事故防止対策論文」を募集します。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/115b74ebb0d0fb7061c611be42699d3ec3547a57.pdf>) に掲載されています。

連絡先	消防庁危険物保安室 今井、齋藤、盛
TEL	03-5253-5111(代表)
TEL	03-5253-7524(直通)

◆ 令和8年度消防設備関係功労者等に係る消防庁長官表彰

(令和8年10月2日、消防庁)

消防庁では、10月23日(金)に令和8年度の「消防設備保守関係功労者」、「消防機器開発普及功労者」及び「優良消防用設備等」に係る消防庁長官表彰を行います。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/d89240cc8e73d5d5ef6dfe9fda263e87b91d24c1.pdf>) に掲載されています。

連絡先	消防庁予防課
担当	中原・加藤・城取・福田
電話	03-5253-7523
メール	yobo_atmark_soumu.go.jp
(注) 迷惑メール防止のため、メールアドレスの一部を変えています。「_atmark_」を「@」に置き換えてください。	

▽情報提供

◆ 東京消防庁における令和9年度受託研修に関するお知らせ

東京消防庁（東京）

東京消防庁では、各消防本部の職員を対象として令和9年度短期受託研修及び長期受託研修を実施します。派遣を希望する消防本部は、以下の内容をご確認の上、お申し込みください。

区分	短 期	長 期
目的	各区分の研修において、業務を通じた実践的能力の向上	東京消防庁本庁部門において、業務に従事することによる、O J T（職場内指導）を通じた能力向上
申込期間	令和8年11月2日（月）から令和8年12月11日（金）まで	
研修内容	別表第1のとおり	別表第2のとおり
申込方法	下記の東京消防庁ホームページ応募フォームにより、お申し込みください。	
	【短期受託研修応募フォーム】 https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/form/index.php?f=trainees-form02.html 	【長期受託研修応募フォーム】 https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/form/index.php?f=trainees-form01.html 
期間等	別表第1のとおり	令和9年4月1日から令和10年3月31日まで（原則として1年間）
対象者	各研修区分に関して指導的立場（予定を含む。）にある職員とします。 なお、各研修とも各消防本部からの研修参加者は1名までとします。	研修内容に関連する実務経験を有する消防司令補又は消防士長の階級にある職員とします。
研修生の身分、給与	研修費用は無料ですが、研修に係る宿泊費、食費、交通費等は各消防本部の負担となります。	研修生は東京消防庁職員として併任します。 研修生の給料、手当、旅費、宿泊費その他一切の費用は派遣元消防本部の負担となりますが、東京消防庁消防職員待機宿舎への入居を調整することも可能です。入居条件等は事前にお問い合わせください。

問合せ先

東京消防庁人事部人事課

試験研修係 木原 久野
（短期）（長期）

電 話 03-3212-2111（代表）

内 線 3145 3146

電子メール jinjika4@tf.d.metro.tokyo.jp

[目次に戻る](#)

別表第 1

< 令和 9 年度短期受託研修 >

研修区分	実施部隊等	研修内容	期間	人数	実施時期
災害指揮・安全管理技術研修	消防署指揮隊	教養及び災害現場での実習等	2 日勤 又は 2 当務	応募数により調整	令和 9 年度 冬季 (具体的な 実施日は、個 別に調整し 決定)
高度救助技術研修	消防署特別救助隊、 消防救助機動部隊、 又は即応対処部隊	救助活動訓練等	2 日勤		
火災調査技術研修	本庁調査課	教養及び火災現場での調査実習等	3 日勤	9 名 程度	

※ 上記研修区分以外での研修を希望する場合は、個別にご連絡ください。

別表第 2

< 令和 9 年度長期受託研修内容 (例) >

部署	研修内容	部署	研修内容
企画 調整部	○業務の最適化関連事務 ○DX 推進 (デジタル人材育成、AI 技術を活用した業務改善等に関する企画・立案) ○広報に関する企画・調整 ○広報イベント等の企画・実施 ○印刷物等の企画・制作 ○新聞、テレビ等への取材対応 ○災害現場における広報支援活動 ○広聴対応	総務部	○式典・行事 (出初式等) 関係事務 ○国際業務全般 (外国人視察対応等) ○音楽隊業務 ○経理実務全般 ○消防庁舎の計画・設計・施工・保全及び管財事務 ○新本部庁舎整備に関する事務 (調査・設計・施工等) ○各種情報通信システムの各種関連事務 ○アジア消防長協会総会等事務
安全 推進部	○安全に関する全体方針の策定 ○安全に関する職員教育、広報 ○災害史安全教育室の運営 ○職務に起因する事故の分析及び再発防止対策の策定 ○安全に関する評価、安全文化の醸成度の調査 ○消防行政に係る科学技術的な課題を解決するための調査研究及び研究開発 ○危険物の確認試験等 ○火災に係る物件等の鑑定	人事部	○人事制度の企画・立案 ○採用試験事務 ○募集広報事務 ○表彰式典関係事務 ○勤務制度関係事務 ○福利厚生関係 ○待機宿舎関係事務 ○健康管理関係事務

部署	研修内容	部署	研修内容
警防部	○指揮隊の消防活動能力向上に関する技術指導及び関係事務 ○出場計画等に関する制度の立案 ○消防戦術の調査及び立案 ○消防特別警戒関係事務 ○消防資器材の整備計画関係事務 ○震災に関する消防活動対策事務 ○水災・土砂災害に関する消防活動対策事務 ○救助技術の調査研究及び指導 ○消防活動訓練の技術指導及び関係事務 ○警防業務における安全管理関係事務 ○NBC災害や船舶・航空機・林野火災等の特殊災害消防活動対策事務 ○テロ災害事象の調査研究及び消防活動対策 ○指令管制関係事務	防災部	○防火防災訓練の訓練指導関係事務 ○地域連携・応援協定関係事務 ○総合防災教育関係事務 ○消防少年団（少年消防クラブ）育成指導関係事務 ○都民防災教育センター（防災館）関係事務 ○要配慮者の安全対策関係事務 ○住宅防火対策及び放火防止対策関係事務 ○都民生活事故防止関係事務 ○災害時支援ボランティア関係事務 ○震災消防対策システム事務 ○地震時における室内安全対策事務 ○地域防災計画、国民保護事務 ○東京都総合防災訓練事務 ○火災予防審議会事務 ○消防水利施設の設計及び工事監理関係事務 ○消防団員募集広報事務 ○消防団装備・施設事務 ○消防団活動・計画事務
救急部	○メディカルコントロール体制運営・調整事務 ○救急統計事務 ○救急需要対策事務 ○救急資器材管理事務 ○救急医療体制事務 ○救急相談センター運営事務 ○救急技術関係事務 ○救急隊員の教育に関する事務 ○応急手当普及啓発関係事務 ○救急活動照会関係事務	予防部	○消防同意の審査、検査事務 ○消防用設備等の審査、検査事務 ○火気・電気設備器具の審査、検査事務 ○危険物施設等の許認可、検査事務 ○危険物施設等の基準作成事務 ○危険物施設等の火災予防措置事務 ○石油コンビナート等特別防災区域に関する事務 ○立入検査、違反処理に関する事務 ○各種点検報告に関する事務 ○禁止行為の解除承認事務 ○違反対象物の公表に関する事務 ○火災原因、損害状況の調査事務 ○火災調査資料の収集、分析事務 ○防火防災管理制度に関する事務 ○自衛消防の指導事務
装備部	○車両製作事務 ○消防装備資器材及び個人装備品（被服を含む。）の買入れ事務 ○消防艇の法定整備、塗装整備事務 ○機関員（舟艇を含む。）の育成に関する事務 ○消防車両、舟艇の安全運行に関する事務 ○消防機械器具整備事務 ○回転翼航空機の運航事務	消防学校	○学校教養計画関係事務 ○消防団教育訓練事務 ○教育指導要領 ○各種学校研修運営事務

消防本部の“今”を「週間情報」へ

～身近な出来事、旬な情報を週間情報で発信しませんか？～

週間情報では、各消防本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せください。

【特徴】

- ・原則毎週刊行しており、速報性のある広報となっています。

【留意事項】

- ・配信日（原則火曜日）から前2週間以内のイベント、訓練などを中心に掲載しています。
- ・文章は、200～400文字程度、写真は、1～2枚。
- ・週間情報、消防ワイドの両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。

【問合せ】：「週間情報」担当・企画課 中西 TEL:03-4500-6622

原稿データは、【専用投稿フォーム】 <https://forms.office.com/r/GxWJXpdc03>
に投稿願います。



消防デジタルイラスト募集中!!!

～あなたのイラストが全国の消防業務を支える力となります～

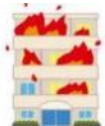
- あなたのイラストが、全国の消防本部で、広報・啓発・訓練・教材作成など、消防業務の様々な場面で活用されます。
- 全国消防長会ホームページの「令和版 消防デジタルイラスト集」に掲載されます。
- ホームページ掲載時には、「〇〇消防本部〇〇作」と作者名を明記し、あなたの名前と作品が、全国に紹介されます。

詳細は、全国消防長会ホームページを検索!!!



「消防行政相談事例集」を掲載中

- これまでに蓄積された相談事案と顧問弁護士の知見を「消防行政相談事例集」として取りまとめ、全国消防長会の情報管理システムに掲載しています。
- 行政相談でこれまでに対応した事例の中から、参考になるものを紹介しています。
- 掲載している相談は、内容を整理・一般化した概要と、それに対する顧問弁護士の回答です。
- 掲載する事例は、今後、随時追加していきます。



全国消防長会・一般財団法人全国消防協会「公式 X」を開設!

～あなたのもとへ直接、素早く情報をお届け～

- 全国消防長会・一般財団法人全国消防協会「公式 X」を開設しました。フォローをお願いします。
令和8年度から定期刊行物（会報・ほのお・週間情報 ※週間情報は既に公開中）をホームページ上で公開することに伴い、「X」を通じて掲載情報などを素早くお届けします。
フォロー（アカウント登録）していただくことにより、各消防本部の先進的な取り組みや本会の取り組みなど多くの情報をお届けいたします。



フォローはこちら👉



X (旧 Twitter) 登録用二次元コード

